

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年1月22日

事業所名 児童発達支援センター虹の家 放課後等デイサー 保護者等数(児童数) 50 回収数 36 割合 72 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31	5	0		・厚生労働省の指定基準通りに確保している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26	9	1	・最後まで男性女性の職員が配置されるべき ・ハローワーク求人では特に資格等必要な そうだったので、研修等しているのか疑問	・職員配置基準通りに配置している。男女比は今後も引き続きできる限り配慮していきたい。 ・職員は保育士や教員や福祉サービスの有資格者を配置し、事業所内研修や外部の研修に積極的に参加していることを、今後お便り等で保護者へも知らせるようにする。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	22	12	2	・中をじっくり見る機会がなく分からない ・二階に上るときが危険	・保護者説明会等で丁寧に説明する。 ・階段では必ず手すりに掴まること、職員がついて上ることを今後も続ける。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	31	4	1	・事前説明がない	・相談支援事業所からの基本情報や関係機関からの情報、保護者面談等の内容をまとめ計画を作成したものを、担当者会議で職員間で話し合い作成するようにしている。
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22	13	0	・毎週「こんな活動をしたよ」と教えてくれる ・知らない、説明ない	・活動内容の創意工夫について今後も引き続き努力するとともに、保護者への伝えも丁寧に言う。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	16	15	3	・知らない、説明ない	・児童クラブと園庭を共有し遊んだり、劇団公演など一緒に鑑賞する活動を今後も続け、保護者へもお便り等で知らせる。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担金について丁寧な説明がなされたか	28	6	1	・給付金のお知らせはとも良い ・とても分かりやすくしてくれた ・こちらが聞かないと	・今後も引き続き丁寧な説明をしていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30	4	1	・活動内容や出来事、対応したことをいつも分かりやすく説明してくれる ・共通理解ではない	・今後も引き続き、子どもの状況や課題など踏まえて活動の内容や様子を丁寧に説明をし、共通理解を図っていく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言などの支援が行われているか	33	3	0	・いつも子どもに配慮してくれているので感謝している ・いつも話を聞いていただき有難い ・面談はしているが助言の認識がない	・職員研修等で専門性を高めるとともに、保護者の話を傾聴し、必要に応じて適切な助言ができるようにする。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	19	0	・場所の提供など支援されている ・参加できていない ・保護者同士の連携の必要性を感じない ・保護者に任せっきりの気がする	・保護者が参加しやすい会の開催方法を検討し保護者同士が連携できるように支援していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	12	1	・そう感じたことはない。全然動いてくれない	・苦情受付機関の周知を図り、苦情に関しては誠意をもって対応する。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	7	1	・連絡帳はあるが何も書かれず意味がない	・意思疎通が図れるように、必要に応じて様々な方法を工夫する。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	25	9	1	・前回の結果の説明を聞いていない	・今後も引き続きお便り等で情報を発信していくとともに、自己評価の結果はHPにて公開する。
14 個人情報に十分注意しているか	33	3	0		・個人情報に関しては、今後も慎重に扱う。	
非常 時 等 の 対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	17	4	・児発はあったが放デイはあるのか？同じ？	・各マニュアルについて保護者会等で説明し周知する。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	15	1	・よく知らない	・毎月実施している事を保護者に分かりやすく伝えていく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	32	3	1	・全く行きたがらない。涙を流して拒否する。2年間変わらない	・楽しく通えるように活動内容を工夫したり、子どもとの信頼関係をさらに深めたりしていく。
	18 事業所の支援に満足しているか	28	7	1	・学校に迎えに行くと下さるので安心。 ・活動も体や指先を使ってすごく楽しそう。 ・他校や異学年の友だちから刺激をもらい、いつも「楽しかった～」と帰ってくるのが一番嬉しい。 ・内容には大変満足しているが、利用日と時間がうまく調整できたら。 ・先生方にはよくしていただいているが、療育の成果を感じられない。プログラムも似たような遊びばかりで、もう少しバリエーションが欲しい。 ・支援が必要なのにうまく機能していない。訴えても変わらない。残念でならない。	・職員研修での学びや日々の振り返り、保護者や外部からのご意見を総括し、課題を職員全員で共通理解し、来年度の療育計画に活かしていく。 ・保護者や各関係機関との連携を深め、療育の成果を相互に確認しながら進められるようにする。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。